

日本原子力学会標準「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順」に係る技術評価の実施

令和 3 年 6 月 23 日

原子力規制庁

「民間規格の技術評価の実施に係る計画」(令和 3 年 5 月 12 日原子力規制委員会)に基づき、日本原子力学会標準「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順」2019 年版(以下「放射能濃度決定標準」という。)の技術評価について、次のとおり行うこととしたい。

1. 放射能濃度決定標準の主な内容

原子力発電所から発生する中深度処分対象廃棄物の放射能濃度の決定方法に関する以下の 2 つの手法が規定されている。

理論的方法として、放射化した材料(金属等)を対象とした放射化計算における、評価対象核種及び放射化条件の設定方法

実証的方法として、使用済樹脂等の試料分析における、代表性を有する試料の採取方法

2. 技術評価の体制

「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法に係る日本原子力学会標準の技術評価に関する検討チーム」を設置し、公開の場での議論により技術評価を行う(別添参照)。

3. 今後のスケジュール

令和 3 年度中に技術評価書案及び放射能濃度決定標準を引用する審査基準等¹の案をとりまとめ、原子力規制委員会に諮る。

¹ 核燃料物質又は核燃料物質によつて汚染された物の第二種廃棄物埋設の事業に関する規則に係る審査基準を新規に制定する等がある。

(別添)

中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法に係る
日本原子力学会標準の技術評価に関する検討チーム(案)

原子力規制委員会

田中 知 原子力規制委員会委員

原子力規制庁

大村 哲臣 技術基盤グループ長
遠山 眞 技術基盤グループ 技術基盤課長
佐々木 晴子 技術基盤グループ 技術基盤課 企画調整官
大塚 伊知郎 技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門 主任技術研究調査官
佐藤 由子 技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門 技術研究調査官
古田 美憲 技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門 技術研究調査官
前田 敏克 原子力規制部 研究炉等審査部門 安全規制調整官
藤澤 博美 技術参与

技術支援機関

武田 聖司 日本原子力研究開発機構 安全研究センター
燃料サイクル安全研究ディビジョン
廃棄物・環境安全研究グループリーダー
島田 太郎 日本原子力研究開発機構 安全研究センター
燃料サイクル安全研究ディビジョン
廃棄物・環境安全研究グループ研究主幹
島田 亜佐子 日本原子力研究開発機構 安全研究センター
燃料サイクル安全研究ディビジョン
廃棄物・環境安全研究グループ研究主幹

外部専門家

渡邊 直子 北海道大学 工学研究院 応用量子化学部門 准教授
浅井 志保 国立研究開発法人産業総合研究所 主任研究員
富田 英生 名古屋大学 大学院工学研究科 エネルギー理工学専攻 准教授

必要に応じて、適宜検討チームメンバーを変更する。